

岡つよし 県議会だより (加古郡)

国土強靱化と災害弱者支援を

天皇陛下が退位されて上皇になられ、皇太子殿下が新しい天皇に即位されました。そして「平成」から「令和」へ御代が移り、早や8カ月。依然として人口減少や少子高齢化、人工知能社会への対応などは引き続き重要課題として立ちはだかつています。

昨今は台風、集中豪雨などの災害が頻発しています。先の台風19号では想定を超える被害が発生し、自然の脅威には人智もなす術がないことを目の当たりにしたところではあります。

政府は、7兆円規模の国土強靱化緊急3カ

地域と県政のつなぎ役に徹す

このほか75歳以上の高齢者交通事故防止対策事業補助金の受付が開始されました。不測の事態を回避するため普及に努めていく所存です。

復興にはボランティアのサポートが不可欠です。ボランティア文化を生んだ阪神・淡路大震災の被災地として、このたび本県独自の災害救援支援ボランティア派遣助成事業を創設し、募集をスタートしました。兵庫だからこそその知恵の活用を期待したいものです。

また、被災地の復旧・



播磨町の海上警らをして頂いている県警の船舶にて

望が必要です。住民の願いや切実な声を鋭敏にとらえて政策を打ち立て、地域課題に即応しながら県政のつなぎ役に徹することをお誓いいたします。

9月補正予算 80億円規模に

第345回定例県議会 議案52件を可決

兵庫県議会は9月24日、第345回定例会を開き、総額約80億円にのぼる9月補正予算案など議案52件を32日間にわたって審議し、10月25日の本会議で可決しました。また、平成20年度から取り組んできた行財政構造改革を総括する平成30年度決算案も認定しました(2面に詳報)。補正予算では、いつ起こるか分からない災害への備えをはじめ、頻発する高齢運転者による交通事故、長期化・高齢化が危惧されるひきこもり問題など、緊急かつ社会的解決が求められる課題に対応するための事業が盛り込まれているのが特徴です。

高齢運転者 踏み間違い防止で支援制度

全国で高齢者による交通事故が相次いでいることから、75歳以上を対象にアクセルとブレーキの踏み間違いを防止するための装置を購入する際に活用できる補助制度を創設しました。10月23日から申請の受け付けを開始しています。

対象の安全装置は、アクセルを急激に踏み込むと急加速が抑制される「急発進抑制タイプ」と、「障害物感知タイプ」の2つです。

要件は1人につき自動車(自家用)1台限りで、2万2千円を補助することとしています。

第345回定例県議会 議案等への会派態度(抜粋)

件名	自民	公明	県民連合	維新	共産
令和元年度兵庫県一般会計補正予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
公文書等の管理に関する条例	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
県が行う建設事業についての市町負担額の決定	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
加古川小野線東播磨道北工区下村第1高架橋上部工事請負契約の締結	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
平成30年度兵庫県一般会計歳入歳出決算の認定	認定	認定	認定	認定	反対
請願					
臓器移植の環境整備を求める意見書提出の件	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
意見書					
あおり運転を根絶するための法改正等を求める意見書	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

約80億円の9月補正予算を審議、可決しました



9月補正予算で実施する事業一覧

- 1 防災・減災対策の促進**
 - 日本海津波防災インフラ整備計画の前倒し実施
 - 流域下水道の地震津波対策の推進
 - 砂防えん堤堆積土砂等撤去の実施
- 2 安全安心対策の強化**
 - 高齢運転者による交通事故防止対策
 - ・踏み間違い事故防止装置購入補助の創設
 - ・運転免許の自主返納への理解促進
 - ひきこもり総合支援の推進
 - こども家庭センター一時保護所の受け入れ強化
 - 豚コレラ等緊急発生予防対策の実施
 - 受動喫煙対策の推進強化
 - 交番安全対策の促進
- 3 地域の元気づくりの推進**
 - FOCUS人材育成基盤の強化
 - 兵庫わくわく館のリニューアル
 - 播磨中央公園サイクルステーションの整備
 - 六甲山ビジターセンターの機能強化
 - 県立美術館西宮瀬川分館(仮称)のリニューアル整備
 - コウノトリの郷公園約束のケージの整備

自民党 岡つよし県議会議員連盟
土地改良推進議員連盟
事務局長に就任

このほど、県議会

自民党議員団の土地改良推進議員連盟と商工議員連盟の事務局長に就任しました。任期は4年間で

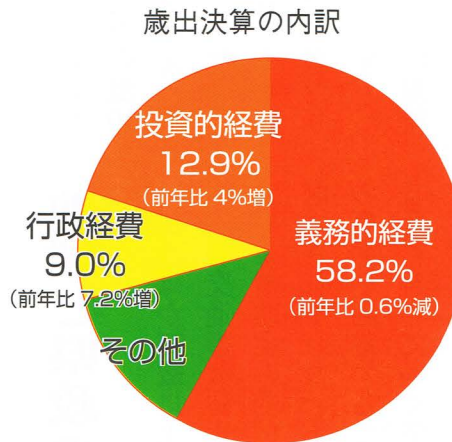
土地改良推進議員連盟は、かんがい排水や災害復旧など農業の生産基盤の整備や農村の保全・管理を担う土地改良事業を促進するのがねらい。商工議員連盟は活力ある商工業の振興を図るため、政策研究や資料収集、議員活動の支援などを展開しています。各団体と連盟の間を取り持つ事務局長という大任を受け、事業の推進により一層励んでいく決意です。

第345回定例県議会から

30年度決算

実質収支6億7千万円に
42年連続黒字、行革目標も達成

平成30年度の一般会計決算（歳出）は、前年度を634億円下回る1兆7861億円となりました。歳入歳出の差額となる形式収支は64億円の黒字です。翌年度の繰り越し



財源を控除した実質収支は6億7000万円の黒字で、42年連続の黒字となっています。また、実質単年度収支は2億2600万円、11年連続黒字の経費2296億円、行政経費1613億円など。歳入は県税等が8005億円、地方交付税等3970億円、県債1296億円などです。

字、実質公債費比率は13.8%と前年度から1.5ポイント改善するに至りました。この結果、行財政構造改革の最終2カ年プランに基づく着実な改革の成果もあり、収支均衡を前提とした財政運営の目標を達成することができました。

補正予算

ひきこもり総合支援センター開設
中高年対象に就労支援つなぐ

9月補正予算では、防災・減災対策として日本海津波防災インフラ整備計画などを前倒し実施するほか、風水害などで土砂災害の恐れが大きい砂防えん堤で緊急的に土砂を撤去する方針です。また、ひきこもり支援の強化として、主に中高



ひきこもりは長期化、高齢化がクローズアップされ、50代のひきこもりの子どもを80代の親が養うといった「8050問題」が社会問題となり、親子共倒れになるリスクも指摘されています。こうした背景から、同センターでは相談業務のみならず、社会とつながる居場所を設置し、就労支援などにつないでいくことにしています。一方、児童虐待で増加する一時保護需要に緊急

保護所を改修して受け入れ体制を強化します。このほか、但馬地域で芸術文化や観光分野の人材を育成する「国際観光芸術専門職大学（仮称）」を令和3年春に開学するため、設立準備を進めていくことを決めました。

避難所の生活環境
向上、あおり運転
根絶の法改正など
求める意見書採択

近年は局地的豪雨などで毎年のように大規模な災害が発生し、少なからぬ住民が避難所生活を余儀なくされています。避難所ではストレスによる身体の異常や不衛生

な環境による体調悪化などが死につながる例が多く、特に避難所のトイレ確保は重要な課題です。このことから、水道や電力の供給が停止した場合もトイレ等の生活設備が利用可能となる井戸水を活用し、電力源をプロパンガスとする非常用の合併処理浄化槽を普及させるための財源措置などを国に求めました。

また、あおり運転に起因する事故が続発し、大きな社会問題となっていることから、あおり運転



自体を処罰する規定を創設するなど厳罰化するための法改正を要望しました。なお、平成30年の車間距離保持義務違反の取り締まり件数は前年の1.8倍にあたる1万3025件で未だに多く発生しています。

岡つよしにご意見・ご要望を！

岡つよし事務所
〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一 710
☎ 080-4398-6173
E-mail: info@oka-tsuyoshi.com

兵庫県とハバロフスク地方
友好提携50周年で代表団
人材育成、医療技術で協力へ

今年、兵庫県とロシア・ハバロフスク地方が友好提携50周年を迎えることから、県民や経済関係者らでつくる代表団を組織し、8月18日から4日間にわたって同地方を訪れ、私も参加しました。中で、ハ地方のフルガル知事を表敬訪問し、人材育成や経済、医療技術などで相互協力する共同声明に調印しました。



ハバロフスクにあるシベリア抑留者の日本人墓地にて